

テーマは 九条で国を守れるか、武力で守るのか

くしくもウクライナ侵攻のまっただ中で開かれ、19人の参加者すべての人が戦争は絶対だめだという実感を語りました。

その中で「ロシアとウクライナ、西側諸国との関係や歴史を知って、解決すべき」「核が抑止になるところか脅しに使われ世界を危機に陥れることがわかった」「九条をもつ日本がどう行動すべきか、問われている」「戦争反対の一点で行動すべき」「九条をこれ以上空洞化させてはいけない」など様々な思いが出されました。参加した方々の感想をお読み下さい。

長良・岩野田 九条の会だより

No.176

2022年

3月号

事務局連絡先：林
090-6769-9809



* 多様な意見がきけて参考になりました。良い時間が持てました。

* 世界や日本で事件など起こること(特に平和や戦争に関する事)憲法に照らし合わせて考えようと思っっています。歴史や政治など知らない事が多く、学ぶことの大切さを身にしみて感じます。また、参加したいです。

* 聞く会だけでなく、話し合いが出来るになり良かったです。朝日新聞(3/1)にありますように核による脅かしを許さないために核兵器禁止条約にむけ、頑張りましょう。ロシアだけを悪者にしてはいけないと思います。

* 憲法は本当に国民をまもっているのか?例えば、住まいを失い食べ物にも事欠く若者たち。憲法よりも命を繋ぐ援助が必要では無いか。コロナで困っている人はそれどころでは無く、実際生きていけることを望んでいると思います

* 各国の憲法が全て戦争はやらないという事にならないと、いつか何処かで戦争が起きる事だ。話し合いだと思っていたが、やはり武力を、核を持たない事が一番です。

* 今こそ9条の会の出番です。全国の仲間と連帯し、大運動にしていきたいでしょう。今日はたくさん勉強ができ、有り難うございました。

* 行事が重なり三〇分しか参加できなくて済みません。憲法前文、コストリカの話など本当にその通りだと思います。

政治にあまり関心の無い人でもさすがに怒っています。今こそ、こういう声を結集していくときだと思います。

* 参加者の皆様の鋭い意見にうなる様な思いがしました。あつという間の二時間半でした。

ウクライナでの戦争の現状がリアルに伝わる今こそ、九条の会は「武力で平和は作れない」事を強く訴えます。今こそ核兵器禁止への国民の声をたかめていきましょう

九条改憲反対署名

二月十八日長良ピアゴにて六人で集めました。これまでに五十五筆集まっています

三月二五日十六時から
長良バローにて行います

九条の会へご支援いただき、ありがとうございます

今年の1月17日から、「赤い振込み用紙」を使って現金で振り込んでいただく方にも手数料(110円)がかかるようになりました。ただし、ご自分の「ゆうちょ」の通帳から赤い振込み用紙の口座に振り込んでいただくと、振込みをされる方は無料となるそうです。以上、連絡が遅れましたことをお詫びします。(会計、井深百合子)